

# はじめに

和歌山県JA大会は、3年ごとに開催され、県内JAグループ共通の意思を確認・決定するとともに、これを内外に表明します。

2012年は国連が定めた「国際協同組合年」であり、これは、行き過ぎた市場原理主義の対立軸としての協同組合の事業・活動が社会経済発展に寄与していると国際的に認められた証であります。

また、東日本大震災を契機に、助け合い等を通じた人との「つながり」「共助」「絆」などの価値観が再認識され、協同組合の仕組みが高く評価されました。

一方、JAを取り巻く情勢は、農産物価格の低迷に加え農業従事者の高齢化と担い手不足により耕作放棄地が年々増加するとともに、JAの組織・事業を支えてきた組合員の世代交代が本格化するなか、組織・事業基盤の拡充・強化等への対応が求められています。

このような情勢のもと、本県JAグループの10年後のめざす姿の実現、組合員・利用者・地域住民の期待と要望、JAのおかれている今日的課題を十分認識し、今回の大会の主題は、「**次代へつなぐ協同～協同の力で農業と地域を豊かに～**」とし、「協同でめざす農業所得の向上と地域農業の振興」、「豊かで暮らしやすい地域社会の実現」、「組織基盤の拡充と支所を拠点とした協同活動の強化」、「将来にわたり信頼される健全なJA経営の確立」の4つの重点実施事項を決議し取組んでいくこととしました。

本冊子は、向こう3か年の県内JAグループ全体の基本方向、重点実施事項を議案として策定したものです。

今後、JAと中央会・連合会各段階における役割分担のもと、ビジョン・戦略の策定と県内JAグループ一体となった大会議案の着実な実践により、協同の力で農業と地域を豊かにし、次代へつなぐ協同の実現をめざします。

平成24年11月  
和歌山県農業協同組合中央会

## 目 次

I. 第27回県JA大会議案の主題	1
II. JAグループの重点実施事項	2
① 協同でめざす農業所得の向上と地域農業の振興	2
② 豊かで暮らしやすい地域社会の実現	6
③ 組織基盤の拡充と支所を拠点とした協同活動の強化	8
④ 将来にわたり信頼される健全なJA経営の確立	11

# I. 第27回県JA大會議案の主題

## 協同の力で農業と地域を豊かにする「次代へつなぐ協同」

国連は、2012年（平成24年）を国際協同組合年と定め、世界の協同組合に対しそれぞれの地域において協同の取組みを広げることを期待しています。

今、地域社会の崩壊が危惧され、世界的に食料の安定確保が困難になるなかで、JAグループは、「食と農を基軸に地域に根ざした協同組合」の力で、次代の農業と地域を豊かにし、安心して暮らせる豊かな地域社会を実現していくことが求められています。

また、農家組合員が世代交代していくなかで、今後、JAグループが核となって地域農業の振興と安全・安心な農産物の提供の道筋が描けるか、重要な課題となっています。

このため、本県JAグループは、農家組合員の世代交代に対応し、次世代をはじめ多様な組合員・地域住民等が結集して、農業づくり・地域づくり・協同組合運動に参加することで、組合員のニーズが実現され、課題が解決されていく姿をめざす必要があります。この取組みが「次代へつなぐ協同」の実践です。

J Aグループ和歌山は、10年後のめざす姿の実現に向け、今後の3年間において、「協同でめざす農業所得の向上と地域農業の振興」、「豊かで暮らしやすい地域社会の実現」の実践を、地域に即した「組織基盤の拡充と支所を拠点とした協同活動の強化」と、「将来にわたり信頼される健全なJA経営の確立」を支えにして、「次代へつなぐ協同」として展開していきます。

